



年頭のあいさつ

「市民に身近な議会運営 と市民福祉の向上を」

白河市議会議長 十文字忠一

新年おめでとうございませう。希望に輝く平成23年の新春を迎えられた市民の皆さまに、白河市議会を代表して新年のご祝詞を申し上げます。

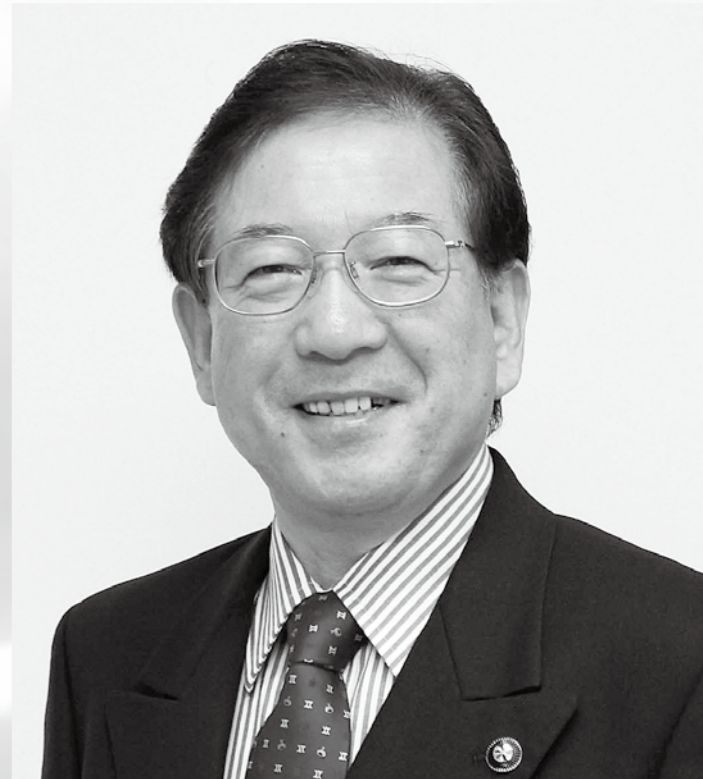
本年は、市議会議員の任期満了に伴う一般選挙が行われます。合併後、初の大選挙区で選挙が実施される重要な年であります。これまで市議会は新市の誕生後、4地区の均衡ある発展を果たすために市民の声を取り上げてまいりました。そのような中で、地方自治体における二元代表制の一翼を担う議会が、市民へ活動状況の広報を進めると同時に議会のさらなる機能強化へ向けて意を注いでいます。とりわけ、市ホームページに会議録や議決結果などを掲載し情報の公開に努め、さらには会議傍聴者への配慮や議会だよりを通して活動状況をお知らせしています。

また、昨年から一般質問に対する一問一答方式の採用や中学生による模擬議会を実施して、市民に分かりやすく、親しみを持っていただける議会となるよう心掛けてまいりました。

地方自治体の独自性と地域の力を高めることが求められ試されている今日、議会の果たす使命と役割はますます大きくなると考えられます。

今後とも、議会の機能が十分生かせるよう、議員各位の意見を尊重しつつ執行機関と連携を保ちながら、市民福祉の向上と市民生活の安定を図ることに最善の努力をしてまいります。市民各位の議会に対する一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご繁栄を心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。



年頭のあいさつ

「活力あるまちづくり をめざして」

白河市長 鈴木和夫

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆さまには、健やかで希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、我が国の景気は緩やかな回復傾向にあるものの、円高や株安などにより、いまだ予断を許さない状況であり、白河市においても、雇用状況はやや改善されておりますが、全体としては依然として厳しい経済状況にあります。

しかしながら、一方では、これまで積極的に取り組んでまいりました地元中小企業者への支援や企業誘致、白河ブランドの開発などによる産業振興、町内会等への支援による地域コミュニティの強化などにより、合併後の新しい地域づくりの基礎が固まりつつあると感じており、また、白河駅周辺につきましましては、本年春に新図書館が開館するのをはじめ、商工会議所会館及びヨークタウンが相次いでオープンするなど、明るい話題もございませう。

さらには、長い歴史と伝統を持つ小峰城跡や提灯まつりなどが醸し出す白河らしい歴史的風致を活かしたまちづくり計画の国認定を目指し、歴史と文化を大切にしたい総合的な地域づくりにも取り組むこととしております。

本年も、「市民から信頼される行政運営」を心掛け、これまで同様、直接現地に足を運び、市民の皆さまの声に耳を傾けながら、県南地方の中核都市としてさらなる躍進を目指し、市政の執行に全精力を傾け取り組んでまいり所存でありますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が市民の皆さまにとりまして、幸多い一年となりますようお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。